

2022年10月31日
オリザ油化株式会社

**オリザ油化株式会社、新たに中小企業向けSBT「1.5°C目標」認定を取得！
世界的取り組みに国内中小企業・食品業界でいち早く対応！**

オリザ油化株式会社（本社：愛知県一宮市、代表取締役：村井弘道、以下「当社」）は、この度CO₂削減目標について、世界レベルで認証活動を推進する機関であるSBTi（Science Based Targets initiative）より、気候変動による世界の平均気温上昇を産業革命前と比べて1.5°Cに抑えるという、中小企業向けSBT「1.5°C目標」の認定を、国内中小企業・食品業界（原料、及び油脂製造業）でいち早く取得しました。

■ Science Based Targets（SBT）について

Science Based Targetsは、パリ協定（世界の気温上昇を産業革命前より2°Cを十分に下回る水準(Well Below 2°C)に抑え、また1.5°Cに抑えることを目指すもの）が求める水準と整合した、5年～15年先を目標年として各企業が設定する温室効果ガス排出削減目標のことで、SBTは国連グローバル・コンパクト(UNGC)・カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト(CDP)・世界資源研究所(WRI)・世界自然保護基金(WWF)の4つの機関による共同イニシアチブ(SBTi)によって認定されます。



【CO₂排出量削減目標】

Scope	基準年	目標年	単位	概要
1+2	2021年	2030年	総量	1.5°C水準

【CO₂排出量削減目標達成に向けたアクション例】

◆スコープ1：

- ① 米油製造設備の1つである脱臭装置の更新（2022年9月完了）
- ② 熱風乾燥機の更新（2022年9月完了）
- ③ 製造設備の更新
 - ・米油製造設備
 - ・重油を都市ガスへ100%切り替え
- ④ 電動フォークリフトへ100%置き換え

◆スコープ2：

- ① 米油製造設備の1つである脱臭装置の更新（2022年9月完了）
- ② 製造設備の更新
 - ・米油製造設備
- ③ LED照明への切り替え（2022年10月現在、全体の3/4完了）
- ④ 全ての電力を再生可能エネルギー化

当社では、環境・省エネ対策、労働安全、品質向上などの多角的視点から、製造設備についても常に最新の情報収集に努めており、この度、米油製造設備の1つである脱臭装置を最新のモデルに更新いたしました。設備の更新によって、ボイラーによる都市ガス使用量の削減、さらに使用電力量の削減を達成し、品質面においても品質・生産性の向上と安定化を実現いたしました。

オリザ油化は、上記1.5°C水準の目標達成に向け、今後も製造設備の省エネ化、更新を進め、ガス・電力の使用量の削減に努めるとともに、持続的な省エネ投資や運用改善、再生可能エネルギー導入などによるCO₂排出削減の取り組みも全社員一丸となり推進してまいります。

参考 URL：<https://sciencebasedtargets.org/companies-taking-action>